

下呂更生保護
サポートセンター
だより

第59号

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1359 番地 1
TEL/FAX 0576-20-4216
E-mail gerohogoshikai@ccn.aitai.ne.jp

視察研修レポート

11月26・27日

「金沢地方裁判所」傍聴 研修旅行

「令和6年度再犯防止シンポジウム」
に参加して (10月23日)

山中麦子

令和6年度 中部ブロック
再犯防止シンポジウム



令和6年
10月23日(水)
13:30~16:00

名古屋国際会議場で開催された再犯防止シンポジウムに参加しました。基調講演は「土岐市における再犯防止の取組」、土岐市長さんのお話でした。土岐市は再犯防止推進計画に関連の深い他の計画等と一体のものとして策定する包括計画ではなく個別計画であることが特徴です。

「規模を広げることができぬなら質を上げればよい」更生保護に対する市を上げての取り組みは素晴らしく思いました。

政策説明は法務省再犯防止推進室、楠木補佐官でした。取り組みの説明後、脱線と断りつつ学生時代に更生中の少年と関わられたことを話されました。「私は罪を重ねてしまう少年たちの時おり見せる笑顔を知っている…」再犯防止推進に取り組む若い行政担当者の熱い想いに触れ、うれしく思いました。

蒸し暑く、雨も降ってきて快適とは言えない一日でしたが得るものの多き日となりました。



金沢裁判所での研修は、外国人の被告に対する麻薬及び向精神薬取締法違反・覚せい剤取締法違反・大麻取締法違反の判決場面を傍聴しました。

裁判が定刻に開廷し裁判官が判決を読み上げる瞬間は、傍聴している私たちも異様な緊張感に包まれました。「判決 主文 懲役2年4か月 罰金30万とする」と裁判長から判決がくだされました。その瞬間、通訳を介して判決を聞いた被告のうな垂れる姿が印象的でした。その後、判決理由の説明があり、被告人は覚醒剤及び大麻を小分けして所持し、営利目的及び社会に拡散する目的があった。また所持量が少量で前科無し、反省している点を考慮しての有罪判決ですと読み上げられました。

裁判を傍聴しての名和研修委員長の感想は、「薬物犯罪が日本では重大犯罪である為、被告人に対し3人の警護官が付き手を後ろで縛っての入廷でした。外国籍の人には通訳を付けてそのハンディキャップを補ったうえで、3人の裁判官による判決が告げられその配慮に感心しました。」とのことでした。

また、傍聴後にバスに戻り、名和さんの進行により裁判の感想を各自発表する機会をいただきました。

【裁判所傍聴後の感想】

- 1) 裁判及び裁判所に関するご感想は？
 - ・女性の検察官の活躍が素晴らしいと感じた
 - ・裁判所職員とか検事さんの若い人たちの活躍が良い
 - ・外国人の執行猶予事犯は大変そう 等々
- 2) 被告人に関する事については？
 - ・被告人が刑務所に入所してから大変そう
 - ・立ち直ってほしいと期待しています
 - ・初犯だから執行猶予にはならないのか

今年は参加人員も多く、一昨年に続き裁判所での傍聴研修でした。今回は判決の読み上げに立ち会う緊張した貴重な機会を体験出来た事に大変有意義な研修だったと思っています。(永田)



金沢地方裁判所前

1月予定表 (サポートセンター当番)

月	日	曜日	行事名	午前(9:00~12:00)	午後(12:00~15:00)
1	1	水	元日		
	2	木			
	3	金			
	4	土			
	5	日			
	6	月			
	7	火			
	8	水		都築保彦 山中麦子	青木正範 山中麦子
	9	木			
	10	金		大江真人 都築保彦 永田光由 可児正充	高井範和 高橋典子
	11	土			
	12	日			
	13	月	成人の日		
	14	火			
	15	水		都築保彦 山中麦子	高井範和 山中麦子
	16	木			
	17	金	飛騨3保護区会長・事務 長会議	山中麦子	永田光由 各務敏文
	18	土			
	19	日			
	20	月	広報委員会	大江真人 都築保彦 永田光由 可児正充	青木正範 高橋典子
	21	火			
	22	水		永田光由 山中麦子	都築保彦 山中麦子
	23	木			
	24	金		青木正範 山中麦子	山中麦子
	25	土			
	26	日			
	27	月		高橋典子 山中麦子	高井範和 山中麦子
	28	火			
	29	水		高井範和 山中麦子	高井範和 山中麦子
	30	木			
	31	金		青木正範 山中麦子	都築保彦 山中麦子

下呂市で更生保護に長年貢献

下村さん法相感謝状

女性の会 会長務める 市長に「今後とも啓発」

下呂市更生保護女性の会会長を務めるなど、更生保護の分野で長年活躍したとして、下村和子さん(70)が法務大臣感謝状を受けた。市役所を訪れ、山内登市長に「一生懸命積み上げてきた活動の結果で、本当に感謝している」と報告した。(原田大介)

下村さんは2005年から更生保護の活動に携わり、日本更生保護女性連盟会長表彰や、中部地方更生保護委員長表彰などを受け、市内の保護司と連携し、小中学校での啓発にも取り組み、子どもに犯罪や非行、いじめの未然防止を伝える活動にも尽力した。

11月20日に岐阜市で行われた県更生保護大会で、県内からは2人が選出された法務大臣感謝状を受けた。下村さんは「更生保護の観点から、いじめの予防など他の分野にも活動が広がった。これからも触れ合形で啓発していきたい」と語り、山内市長は「他の皆さんの励みにもなる成果、市としてもPRなどで連携できれば」と話した。



更生保護の活動が評価され、法務大臣感謝状を受け、下村和子さん(下呂市役所)

令和6年度顕彰式典へ参加

11月20日、岐阜市で「令和6年度岐阜県更生保護事業関係者顕彰式典」が盛大に開催されました。今回、下呂保護司会から4人、更女から4人の方が参加されました。下呂市の関連表彰は次の方です。おめでとございます。

法務大臣感謝状

岐阜県知事感謝状

中部地方更生保護女性連盟会長表彰

岐阜県保護司会連合会長表彰

岐阜県更生保護女性連盟会長表彰

式典の後、各務原病院院長の天野雄平医師より、「暴力の科学、そして薬物依存」と題した記念講演がありました。IQと犯罪者の関係や貧困と薬物依存などについてのお話がありました。来年度は羽島市で開催されます。



岐阜市民会館

(都築)